

医業 経営 情報 報

REPORT

Available Information Report for
Medical Management

医業経営

2023年決算データからみる

医科診療所 経営実績分析

- 1 2023年 経営実績とその傾向
- 2 2023年 収入上位診療所の経営実績
- 3 2023年 診療科目別経営実績
- 4 2023年 医療法人経営指標分析結果

税理士法人 向田会計

2024
5
MAY

1 | 2023年 経営実績とその傾向

1 | 2023年経営実績の概要

経営実数分析は、決算書に基づいて実数値から経営状況を把握することを目的とするものです。今回抽出したデータは、2024年3月までに決算を終えた無床診療所302件（医療法人204件、個人開業98件）の主要科目について、平均値を算出しています。

なお、医療法人のデータについては役員報酬を除外、個人データについては専従者給与を同じく除外しています。概況として2023年は新型コロナウイルス感染症の5類移行による診療報酬の取り扱いの変更があったものの、全体的には増収傾向となりました。

■2023年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2022年	2023年	前年対比
I 医業収入	126,920	130,423	102.8%
1. 保険診療収入	109,555	114,101	104.1%
2. 保険外診療収入	14,399	13,915	96.6%
3. その他医業収入	2,966	2,407	81.2%
II 変動費	23,819	24,011	100.8%
1. 医薬品・診療材料費	19,263	20,198	104.9%
2. 検査委託費	4,556	3,813	83.7%
III 限界利益	103,101	106,412	103.2%
IV 医業費用	50,386	52,291	103.8%
1. 人件費	31,028	31,954	103.0%
2. その他固定費	19,358	20,337	105.1%
減価償却費	5,472	5,593	102.2%
地代・家賃	7,106	7,195	101.3%
研究研修費	255	332	130.2%
保険料	2,802	2,728	97.4%
接待交際費	929	1,085	116.8%
その他経費	2,794	3,404	121.8%
V 医業利益	52,715	54,121	102.7%

2 | 全体動向と利益の傾向

(1)全体動向

2023年における医科診療所の経営実績は、2022年と比較して増収増益となりました。

今回の調査では、医業収支が黒字診療所は全体の78.1%を占めています。医業収入は

2.8%、うち保険診療収入は4.1%の増加で、変動費は0.8%の増加となりました。また、限界利益は3.2%の増加で、医業費用は3.8%の増加となり、最終的な医業利益は2.7%の増加となりました。詳しくは以下の通りです。

◆医業収入・費用等全体の傾向

●医業収入

前年対比2.8%増加し、金額にして3,503千円の増加となりました。保険診療収入は増加し、保険外診療収入、その他医業収入は減少となっています。

●変動費

変動費は前年対比で0.8%の増加となりました。内訳を見ると、医薬品・診療材料費は前年対比4.9%増加し、検査委託費が16.3%の減少となりました。

●医業費用

前年対比3.7%増加し、金額にして3,311千円の増加となり、役員報酬と専従者給与を除いた人件費が3.0%増加しています。その他固定費は、前年対比5.1%の増加となりました。

●医業利益

2023年の平均医業利益は54,121千円で、前年対比2.7%、金額にして1,406千円の増加という結果でした。

(2)利益状況

限界利益は前年対比3.2%の増加、医業利益は2.7%の増加となりました。

■限界利益・医業利益

(単位：千円)

	2022年	2023年	前年対比
限界利益	103,101	106,412	103.2%
医業利益	52,715	54,121	102.7%

3 | 医業収入の傾向

医業収入の実績は、下記のとおりです。医業収入合計では前年対比2.8%の増加でした。うち保険診療収入は同4.1%の増加、保険外診療収入は同3.4%の減少、その他医業収入は同18.8%の減少となりました。

■医業収入

(単位：千円)

	2022年	2023年	前年対比
医業収入合計	126,920	130,423	102.8%
保険診療収入	109,555	114,101	104.1%
保険外診療収入	14,399	13,915	96.6%
その他医業収入	2,966	2,407	81.2%

■医業収入分析

金額で見ると、保険診療収入は4,546千円の増加、保険外診療収入は484千円の減少、その他医業収入は559千円の減少となっています。

4 | 医業費用の傾向

(1) 医業費用前年対比

医業費用の実績は、下記のとおりです。変動費合計は前年対比で0.8%の増加、人件費については同3.0%増加しました。その他固定費は5.1%の増加となりました。なお、人件費には、役員報酬及び専従者給与は含まれていませんが、それぞれ個別に集計し、参考データとして掲載しました。役員報酬の母数は209件、専従者給与の母数は59件です。

① 変動費（医薬品・診療材料費・検査委託費） （単位：千円）

	2022年	2023年	前年対比
変動費合計	23,819	24,011	100.8%
変動費率	18.8%	18.4%	—
医薬品・診療材料費	19,263	20,198	104.9%
検査委託費	4,556	3,813	83.7%

② 人件費 （単位：千円）

	2022年	2023年	前年対比
人件費合計	31,028	31,954	103.0%
（参考）役員報酬	35,163	36,408	103.5%
（参考）専従者給与	5,928	6,129	103.4%

③ その他固定費 （単位：千円）

	2022年	2023年	前年対比
その他固定費合計	19,358	20,337	105.1%
減価償却費	5,472	5,593	102.2%
地代・家賃	7,106	7,195	101.3%
研究研修費	255	332	130.2%
保険料	2,802	2,728	97.4%
接待交際費	929	1,085	116.8%
その他経費	2,794	3,404	121.8%

(2) 医業費用の傾向

● 変動費

2023年平均で24,011千円となり、前年と比較すると0.8%の増加となっています。医薬品・診療材料費が前年対比4.9%の増加、検査委託費が同16.3%の減少となっています。

● 人件費

2023年平均で31,954千円、前年対比3.0%の増加となっています。役員報酬は2023年平均で36,408千円、専従者給与は6,129千円となっています。

● その他固定費

2023年平均で20,337千円となりました。前年対比で5.1%の増加、金額で979千円の増加となりました。

2 | 2023年 収入上位診療所の経営実績

1 | 収入上位診療所の経営実績の概要

第1章で分析した無床診療所302件（医療法人204件、個人開業98件）の決算書より、医療収入上位20%を抽出し、改めて経営データを集計しました。分析の分母（分析対象数）は60件で、その内訳は医療法人51件、個人開業9件です。なお本分析では人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

■2023年 収入上位診療所比較要約変動損益計算書 （単位：千円）

	2022年	2023年	前年対比
I 医業収入	261,343	271,653	103.9%
1. 保険診療収入	231,271	241,452	104.4%
2. 保険外診療収入	26,836	26,963	100.5%
3. その他医業収入	3,236	3,238	100.1%
II 変動費	65,463	67,685	103.4%
1. 医薬品・診療材料費	56,769	59,749	105.2%
2. 検査委託費	8,694	7,936	91.3%
III 限界利益	195,880	203,968	104.1%
IV 医業費用	107,317	113,727	106.0%
1. 人件費	63,424	66,684	105.1%
2. その他固定費	43,893	47,043	107.2%
減価償却費	10,429	11,008	105.6%
地代・家賃	10,641	10,964	103.0%
研究研修費	639	942	147.4%
保険料	4,967	4,845	97.5%
接待交際費	1,210	1,421	117.4%
その他経費	16,007	17,863	111.6%
V 医業利益	88,563	90,241	101.9%

2 | 収益性の傾向

収入上位診療所の2023年経営実績は、増収増益でした。収入上位診療所の医業収支の黒字診療所の割合は88.3%で、全体での78.1%という数値と比べ、黒字割合が高い結果となりました。

医業収入は全診療所データでは前年対比2.8%の増加でしたが、収入上位診療所では同3.9%の増加となっています。内訳を見ると、保険診療収入が同4.4%の増加、保険外診療収入は0.5%の増加、その他医業収入は前年対比で0.1%の増加となっています。

変動費は前年対比3.4%の増加、限界利益は同4.1%の増加となりました。医業費用は、人件費が5.1%の増加となっており、その他固定費は同7.2%の増加でした。

■限界利益・医業利益

(単位：千円)

	2022年	2023年	前年対比
限界利益	195,880	203,968	104.1%
医業利益	88,563	90,241	101.9%

●限界利益は前年対比4.1%増加し、金額にして8,088千円の増加

内訳をみると、保険診療収入が前年対比4.4%の増加、保険外診療収入は同0.5%の増加、その他医業収入は同0.1%の増加となりました。

●変動費は、前年対比3.4%増加し、金額では2,222千円の増加

内訳をみると、医薬品・診療材料費は、前年対比5.2%の増加となり、検査委託費は同8.7%の減少となりました。

●医業費用は前年対比6.0%増加し、金額では6,410千円の増加

その内訳は、人件費が前年対比5.1%の増加で、金額にして3,260千円の増加、その他固定費は同7.2%、金額にして3,150千円の増加となりました。

●医業利益は前年対比1.9%の増加、金額にして1,678千円の減少

3 | 医業収入の傾向

(1) 医業収入前年対比

(単位：千円)

	2022年	2023年	前年対比
医業収入合計	261,343	271,653	103.9%
保険診療収入	231,271	241,452	104.4%
保険外診療収入	26,836	26,963	100.5%
その他医業収入	3,236	3,238	100.1%

(2) 医業収入分析 (医業収入上位20%)

●医業収入は271,653千円で、前年対比3.9%の増加、金額にして10,310千円の増加となりました。

●医業収入の内訳は、保険診療収入が241,452千円で前年対比4.4%の増加、保険外診療収入は26,963千円で同0.5%の増加、その他医業収入は3,238千円で同0.1%の増加となりました。

4 | 医業費用の傾向

(1) 医業費用前年対比

医業費用の実績は下記のとおりです。変動費合計は前年対比3.4%の増加となり、人件費は同5.1%増加し、その他固定費は同7.2%の増加となっています。なお、人件費の取り扱いには前述の通りで、役員報酬の母数は51件、専従者給与の母数は6件となります。

① 変動費（医薬品・診療材料費・検査委託費） （単位：千円）

	2022年	2023年	前年対比
変動費合計	65,463	67,685	103.4%
変動費率	25.0%	24.9%	—
医薬品・診療材料費	56,769	59,749	105.2%
検査委託費	8,694	7,936	91.3%

② 人件費・役員報酬 （単位：千円）

	2022年	2023年	前年対比
人件費合計	63,424	66,684	105.1%
（参考）役員報酬	54,370	56,506	103.9%
（参考）専従者給与	6,800	7,008	103.1%

③ その他医業費用 （単位：千円）

	2022年	2023年	前年対比
その他固定費合計	43,893	47,043	107.2%
減価償却費	10,429	11,008	105.6%
地代・家賃	10,641	10,964	103.0%
研究研修費	639	942	147.4%
保険料	4,967	4,845	97.5%
接待交際費	1,210	1,421	117.4%
その他経費	16,007	17,863	111.6%

(2) 医業費用の傾向

● 変動費

2023年収入上位平均は67,685千円で、前年対比3.4%の増加となりました。

医薬品・診療材料費は59,749千円で、前年対比5.2%の増加、検査委託費は7,936千円で、前年対比8.7%の減少となりました。

● 人件費

2023年収入上位平均は66,684千円（役員報酬等を除く）で、前年対比5.1%の増加となりました。

役員報酬の平均は56,506千円で、前年対比3.9%の増加となっています。また、専従者給与の平均は7,008千円で、前年対比3.1%の増加となっています。

● その他固定費

その他固定費の平均は47,043千円で、前年対比7.2%の増加となりました。

3 | 2023年 診療科目別経営実績

1 | 診療科目別経営実績の概要

本分析では、無床診療所302件（医療法人204件、個人開業98件）の決算データから診療科目別に抽出し、各診療科目別の平均値を算出しました。

なお、抽出した診療科目は、内科、小児科、心療内科、整形外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科で、第1章のデータ同様、人件費から役員報酬と専従者給与は除いていません。また、参考として、各診療科目上位20%のデータを記載しています。

■各データのサンプル数

●内科	133件	（医療法人	89件、個人開業	44件）
●小児科	30件	（医療法人	25件、個人開業	5件）
●心療内科	17件	（医療法人	6件、個人開業	11件）
●整形外科	35件	（医療法人	25件、個人開業	10件）
●皮膚科	24件	（医療法人	15件、個人開業	9件）
●耳鼻咽喉科	23件	（医療法人	14件、個人開業	9件）
●眼科	23件	（医療法人	18件、個人開業	5件）
●泌尿器科	6件	（医療法人	4件、個人開業	2件）

注) 上表の診療科に該当しない診療所もあり、無床診療所数とサンプル数は一致しない

個別データは、次ページ以降に掲載しています。診療科目別に集計した主要科目別数値は下記のとおりです。

■2023年 診療科目別主要データ

（単位：千円）

	内科	小児科	心療内科	整形外科	皮膚科	耳鼻咽喉科	眼科	泌尿器科
医業収入	128,849	148,067	102,709	138,875	118,472	99,558	189,367	114,314
変動費	23,438	39,597	5,039	27,225	22,771	8,045	40,008	17,637
限界利益	105,411	108,470	97,670	111,650	95,701	91,513	149,359	96,677
医業費用	50,039	54,425	47,822	70,699	48,906	43,022	69,204	41,907
うち人件費	30,599	31,878	33,491	43,090	29,362	25,880	38,721	22,876
医業利益	55,372	54,045	49,848	40,951	46,795	48,491	80,155	54,770
参考： 役員報酬	38,003	30,279	25,470	28,013	37,787	27,251	51,693	48,498

2 | 診療科目別経営実績結果

(1) 内科診療所

内科診療所は増収増益を示し、医業収入は128,849千円で、前年対比1.2%の増加となっています。変動費は同1.0%の減少、医業費用は同3.0%の増加となりました。結果として医業利益は55,372千円で同0.5%の増加となりました。

なお、母数89件による役員報酬は、2023年平均で38,003千円となっています。

■2023年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2022年	2023年		
		内科全体	前年対比	上位20%
I 医業収入	127,336	128,849	101.2%	268,801
1. 保険診療収入	108,492	111,933	103.2%	239,835
2. 保険外診療収入	15,092	14,205	94.1%	25,477
3. その他医業収入	3,752	2,711	72.3%	3,489
II 変動費	23,672	23,438	99.0%	59,024
1. 医薬品・診療材料費	17,037	18,076	106.1%	47,785
2. 検査委託費	6,635	5,362	80.8%	11,239
III 限界利益	103,664	105,411	101.7%	209,777
IV 医業費用	48,569	50,039	103.0%	92,626
1. 人件費	29,744	30,599	102.9%	64,217
2. その他固定費	18,825	19,440	103.3%	28,409
減価償却費	5,464	5,442	99.6%	10,367
地代・家賃	6,671	6,775	101.6%	9,365
研究研修費	194	196	101.0%	284
保険料	2,721	2,748	101.0%	5,216
接待交際費	920	1,075	116.8%	1,202
その他経費	2,855	3,204	112.2%	1,975
V 医業利益	55,095	55,372	100.5%	117,151

(2)小児科診療所

小児科診療所は増収増益を示し、医業収入は148,067千円で、前年対比6.2%の増加となっています。変動費は同0.1%の増加、医業費用は同5.9%の増加となりました。結果として医業利益は54,045千円となり、同11.4%の増加となりました。

なお、母数25件による役員報酬は、2023年平均で30,279千円となっています。

■2023年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2022年	2023年		
		小児科全体	前年対比	上位20%
I 医業収入	139,476	148,067	106.2%	236,738
1. 保険診療収入	92,226	104,083	112.9%	148,287
2. 保険外診療収入	42,346	40,184	94.9%	86,067
3. その他医業収入	4,904	3,800	77.5%	2,384
II 変動費	39,545	39,597	100.1%	93,446
1. 医薬品・診療材料費	34,804	37,033	106.4%	90,746
2. 検査委託費	4,741	2,564	54.1%	2,700
III 限界利益	99,931	108,470	108.5%	143,292
IV 医業費用	51,405	54,425	105.9%	65,141
1. 人件費	29,757	31,878	107.1%	49,028
2. その他固定費	21,648	22,547	100.0%	16,113
減価償却費	2,970	3,418	115.1%	4,188
地代・家賃	6,126	6,227	101.6%	6,618
研究研修費	100	129	129.0%	119
保険料	3,114	2,771	89.0%	3,612
接待交際費	858	1,023	119.2%	579
その他経費	8,480	8,979	105.9%	997
V 医業利益	48,526	54,045	111.4%	78,151

(3)心療内科診療所

心療内科診療所は増収増益を示し、医業収入は102,709千円で、前年対比2.0%の増加となっています。変動費は同9.4%の増加、医業費用は同2.1%の減少となりました。結果として医業利益は49,848千円で同5.5%の増加となりました。

なお、母数6件による役員報酬は、2023年平均で25,470千円となっています。

■2023年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2022年	2023年		
		心療内科全体	前年対比	上位20%
I 医業収入	100,706	102,709	102.0%	282,066
1. 保険診療収入	92,562	95,616	103.3%	272,563
2. 保険外診療収入	7,441	6,299	84.7%	9,182
3. その他医業収入	703	794	112.9%	321
II 変動費	4,605	5,039	109.4%	13,192
1. 医薬品・診療材料費	3,379	3,593	106.3%	8,997
2. 検査委託費	1,226	1,446	117.9%	4,195
III 限界利益	96,101	97,670	101.6%	268,874
IV 医業費用	48,866	47,822	97.9%	164,290
1. 人件費	32,426	33,491	103.3%	120,236
2. その他固定費	16,440	14,331	87.2%	44,054
減価償却費	3,760	3,107	82.6%	5,683
地代・家賃	8,338	8,377	100.5%	21,981
研究研修費	307	377	122.8%	668
保険料	1,449	1,448	99.9%	5,281
接待交際費	535	586	109.5%	835
その他経費	2,051	436	21.3%	9,606
V 医業利益	47,235	49,848	105.5%	104,584

(4) 整形外科診療所

整形外科診療所は増収減益を示し、医業収入は138,875千円で、前年対比1.6%の増加となっています。変動費は同0.9%の増加、医業費用は同5.0%の増加となりました。結果として医業利益は40,951千円で同4.5%の減少となりました。

なお、母数25件による役員報酬は、2023年平均で28,013千円となっています。

■2023年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2022年	2023年		
		整形外科全体	前年対比	上位20%
I 医業収入	136,732	138,875	101.6%	283,343
1. 保険診療収入	121,824	121,812	100.0%	244,943
2. 保険外診療収入	12,586	14,418	114.6%	30,341
3. その他医業収入	2,322	2,645	113.9%	8,059
II 変動費	26,972	27,225	100.9%	83,221
1. 医薬品・診療材料費	23,271	23,337	100.3%	69,315
2. 検査委託費	3,701	3,888	105.1%	13,906
III 限界利益	109,760	111,650	101.7%	200,122
IV 医業費用	67,341	70,699	105.0%	124,477
1. 人件費	41,185	43,090	104.6%	79,094
2. その他固定費	26,156	27,609	105.6%	45,383
減価償却費	8,076	7,918	98.0%	16,946
地代・家賃	7,902	8,230	104.2%	14,015
研究研修費	860	1,390	161.6%	6,074
保険料	3,002	3,156	105.1%	6,107
接待交際費	813	909	111.8%	1,280
その他経費	5,503	6,006	109.1%	961
V 医業利益	42,419	40,951	96.5%	75,645

(5)皮膚科診療所

皮膚科診療所は増収増益を示し、医業収入は118,472千円で、前年対比5.6%の増加となっています。変動費は同10.1%の増加、医業費用は同6.4%の増加となりました。結果として医業利益は46,795千円で同2.8%の増加となりました。

なお、母数15件による役員報酬は、2023年平均で37,787千円となっています。

■2023年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2022年	2023年		
		皮膚科全体	前年対比	上位20%
I 医業収入	112,146	118,472	105.6%	230,130
1. 保険診療収入	104,838	110,424	105.3%	213,735
2. 保険外診療収入	6,888	7,565	109.8%	15,840
3. その他医業収入	420	483	115.0%	555
II 変動費	20,673	22,771	110.1%	81,380
1. 医薬品・診療材料費	19,404	21,368	110.1%	78,837
2. 検査委託費	1,269	1,403	110.6%	2,543
III 限界利益	91,473	95,701	104.6%	148,750
IV 医業費用	45,946	48,906	106.4%	78,458
1. 人件費	30,338	29,362	96.8%	45,829
2. その他固定費	15,608	19,544	125.2%	32,629
減価償却費	4,380	4,891	111.7%	12,189
地代・家賃	6,547	6,742	103.0%	9,425
研究研修費	89	141	158.4%	117
保険料	3,264	3,383	103.6%	8,341
接待交際費	968	1,262	130.4%	2,170
その他経費	360	3,125	868.1%	387
V 医業利益	45,527	46,795	102.8%	70,292

(6)耳鼻咽喉科診療所

耳鼻咽喉科診療所は増収増益を示し、医業収入は99,558千円で、前年対比12.4%の増加となっています。変動費は同2.8%の増加、医業費用は同8.2%の増加となりました。結果として医業利益は48,491千円で同18.2%の増加となりました。

なお、母数14件による役員報酬は、2023年平均で27,251千円となっています。

■2023年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2022年	2023年		
		耳鼻咽喉科全体	前年対比	上位20%
I 医業収入	88,591	99,558	112.4%	168,332
1. 保険診療収入	83,743	96,087	114.7%	164,557
2. 保険外診療収入	4,659	3,299	70.8%	3,715
3. その他医業収入	189	172	91.0%	60
II 変動費	7,824	8,045	102.8%	17,274
1. 医薬品・診療材料費	5,353	5,558	103.8%	12,099
2. 検査委託費	2,471	2,487	100.6%	5,175
III 限界利益	80,767	91,513	113.3%	151,058
IV 医業費用	39,756	43,022	108.2%	58,153
1. 人件費	23,824	25,880	108.6%	38,615
2. その他固定費	15,932	17,142	107.6%	19,538
減価償却費	4,320	3,968	91.9%	5,519
地代・家賃	6,873	6,898	100.4%	7,200
研究研修費	123	132	107.3%	137
保険料	2,611	2,382	91.2%	4,736
接待交際費	972	1,146	117.9%	1,223
その他経費	1,033	2,616	253.2%	723
V 医業利益	41,011	48,491	118.2%	92,905

(7)眼科診療所

眼科診療所は増収増益を示し、医業収入は189,367千円で、前年対比3.4%の増加となっています。変動費は同1.7%の増加、医業費用は同1.3%の増加となりました。結果として医業利益は80,155千円で同6.0%の増加となりました。

なお、母数18件による役員報酬は、2023年平均で51,693千円となっています。

■2023年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2022年	2023年		
		眼科全体	前年対比	上位20%
I 医業収入	183,227	189,367	103.4%	426,009
1. 保険診療収入	180,383	184,073	102.0%	421,716
2. 保険外診療収入	1,719	1,662	96.7%	4,035
3. その他医業収入	1,125	3,632	322.8%	258
II 変動費	39,320	40,008	101.7%	111,470
1. 医薬品・診療材料費	37,735	38,563	102.2%	108,930
2. 検査委託費	1,585	1,445	91.2%	2,540
III 限界利益	143,907	149,359	103.8%	314,539
IV 医業費用	68,317	69,204	101.3%	117,562
1. 人件費	38,120	38,721	101.6%	70,704
2. その他固定費	30,197	30,483	100.9%	46,858
減価償却費	8,169	8,799	107.7%	16,070
地代・家賃	10,142	9,942	98.0%	13,413
研究研修費	166	164	98.8%	118
保険料	3,414	2,594	76.0%	4,616
接待交際費	1,265	1,397	110.4%	2,228
その他経費	7,041	7,587	107.8%	10,413
V 医業利益	75,590	80,155	106.0%	196,977

(8) 泌尿器科診療所

泌尿器科診療所は減収減益を示し、医業収入は114,314千円で、前年対比0.1%の減少となっています。変動費は同1.7%の減少、医業費用は同2.2%の増加となりました。結果として医業利益は54,770千円で同1.3%の減少となりました。

なお、母数4件による役員報酬は、2023年平均で48,498千円となっています。

■2023年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2022年	2023年		
		泌尿器科	前年対比	上位20%
I 医業収入	114,447	114,314	99.9%	166,164
1. 保険診療収入	103,023	100,870	97.9%	138,030
2. 保険外診療収入	11,186	13,166	117.7%	28,117
3. その他医業収入	238	278	116.8%	17
II 変動費	17,943	17,637	98.3%	23,188
1. 医薬品・診療材料費	11,740	11,634	99.1%	13,919
2. 検査委託費	6,203	6,003	96.8%	9,269
III 限界利益	96,504	96,677	100.2%	142,976
IV 医業費用	41,003	41,907	102.2%	57,224
1. 人件費	22,187	22,876	103.1%	28,311
2. その他固定費	18,816	19,031	101.1%	28,913
減価償却費	5,001	6,405	128.1%	11,950
地代・家賃	6,230	5,966	95.8%	6,667
研究研修費	88	223	253.4%	467
保険料	2,389	2,683	112.3%	4,010
接待交際費	594	1,086	182.8%	2,069
その他経費	4,514	2,668	59.1%	3,750
V 医業利益	55,501	54,770	98.7%	85,752

4 | 2023年 医療法人経営指標分析結果

1 | 2023年医療法人経営指標分析結果

本章では、医療法人立無床診療所の204件を対象として、貸借対照表の数値を抽出し、経営指標を算出しました。

分析は、収益性、生産性、安全性、成長性の4つの視点で行っています。

■2023年 比較貸借対照表 医療法人立無床診療所平均

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
	2022年	2023年		2022年	2023年
【流動資産】	91,084	97,347	【流動負債】	13,992	13,371
現金・預金	62,645	69,241	買掛金	6,783	6,597
医業未収金	20,720	19,473	その他	7,209	6,774
その他	7,719	8,633	【固定負債】	41,165	39,005
【固定資産】	67,990	68,977	長期借入金	31,032	29,705
【有形固定資産】	31,800	32,972	その他	10,133	9,300
医療用機器備品	4,081	4,264			
工具器具備品	3,130	3,090	負債合計	55,157	52,376
その他	24,589	25,618			
【無形固定資産】	3,586	3,947	純資産の部		
ソフトウェア	844	1,056		2022年	2023年
その他	2,742	2,891	【出資金】	9,796	9,796
【その他の資産】	32,604	32,058	【利益剰余金等】	94,121	104,152
保険積立金	24,238	24,993			
その他	8,366	7,065	資本合計	103,917	113,948
資産合計	159,074	166,324	負債・純資産合計	159,074	166,324

(注) 当期純利益は法人税等控除後の数値としています。

経営分析に必要となる主要損益数値は次のとおりです。なお職員数については平均値を算出し、9名で計算しています。

■2023年 比較損益計算書 医療法人立無床診療所平均 (単位：千円)

	2022年	2023年	前年対比
医業収入計	144,212	147,398	102.2%
限界利益	118,022	121,309	102.8%
職員給与費計	71,915	73,978	102.9%
医業利益	10,215	10,100	98.9%
経常利益	20,292	15,798	77.9%

2 | 収益性分析 前年対比

		2022年	2023年	増減
収益性	総資本経常利益率	12.8%	9.5%	▲3.3%
	医業収入医業利益率	7.1%	6.9%	▲0.2%
	医業収入経常利益率	14.1%	10.7%	▲3.4%
	総資本回転率	0.9回	0.9回	—

■指標計算式

指標名	目的	計算式
総資本経常利益率	資本を使ってどれだけ効率的に利益を上げたかを見る指標	$\text{経常利益} \div \text{総資本} \times 100$
医業収入医業利益率	医業活動における利益を医業収入で除した指標	$\text{医業利益} \div \text{医業収入} \times 100$
医業収入経常利益率	医業利益に医業外損益を加えた経常利益を医業収入で除した指標	$\text{経常利益} \div \text{医業収入} \times 100$
総資本回転率	資本の何倍の医業収入があるかを見る指標	$\text{医業収入} \div \text{総資本}$

■収益性分析コメント

●総資本経常利益率

2023年の実績は9.5%で、前年より3.3%減少しています。

●医業収入医業利益率

2023年の医業収入医業利益率は6.9%で、前年対比0.2%の減少となりました。

●医業収入経常利益率

2023年の医業収入経常利益率は10.7%で、前年対比3.4%の減少となりました。

●総資本回転率

総資本回転率は前年実績と同水準であり、回転率に変化はありませんでした。

3 | 生産性分析 前年対比

		2022年	2023年	増減
生産性	限界利益率	81.8%	82.3%	0.5%
	1人当たり医業収入/月 (千円)	1,335	1,365	30
	1人当たり限界利益/月 (千円)	1,093	1,123	30
	1人当たり人件費/月 (千円)	666	685	19
	労働分配率	60.9%	61.0%	▲0.1%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
限界利益率	医業収入から変動費を控除した限界利益の医業収入に対する比率	$\text{限界利益} \div \text{医業収入} \times 100$
一人当たり 医業収入/月	一人当たりの医業収入の効率を見る	$(\text{医業収入} \div \text{職員数}) \div 12\text{ヶ月}$
一人当たり 限界利益/月	一人当たりの限界利益創出力を見る指標、労働生産性ともいう	$(\text{限界利益} \div \text{職員数}) \div 12\text{ヶ月}$
一人当たり 人件費/月	一人当たりの総額人件費（社会保険料等の事業所負担も含めたもの）を見る	$(\text{総額人件費} \div \text{職員数}) \div 12\text{ヶ月}$
労働分配率	限界利益に占める人件費の割合を見る	$\text{総額人件費} \div \text{限界利益} \times 100$

■生産性分析コメント

●限界利益率

前年よりも0.5%の増加で、変動費の伸び率よりも医業収入の方が上回っている状況です。

●一人当たり医業収入／月、一人当たり限界利益／月

一人当たり医業収入／月、一人当たり限界利益／月は前年とほぼ横ばいとなっています。

●一人当たり人件費／月

一人当たり人件費／月は685千円で、前年とほぼ変わらない結果となりました。

●労働分配率

労働分配率は、61.0%で、前年より0.1%減少しています。

4 | 安全性分析 前年対比

		2022年	2023年	増減
安全性	流動比率	651.0%	728.0%	77.0%
	当座比率	595.8%	663.5%	67.7%
	固定比率	65.4%	60.5%	▲4.9%
	固定長期適合率	46.9%	45.1%	▲1.8%
	自己資本比率	65.3%	68.5%	3.2%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
流動比率	短期的な債務返済能力を見る	$\text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100$
当座比率	流動資産の中で特に換金性の高い当座資産による短期返済能力を見る	$\text{当座資産} \div \text{流動負債} \times 100$
固定比率	固定資産が自己資本でどれだけ調達できているかを見る	$\text{固定資産} \div \text{自己資本} \times 100$
固定長期適合率	固定資産が自己資本と固定負債でどれだけ調達できているかを見る	$\text{固定資産} \div (\text{自己資本} + \text{固定負債}) \times 100$
自己資本比率	総資産に占める自己資本(純資産)の割合を見る	$\text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100$

■安全性分析コメント

●流動比率・当座比率

流動比率は前年対比77.0%の増加で、728.0%と短期的な債務返済能力は高いといえます。当座比率も同67.7%増加し、663.5%となっています。これは、コロナ禍において、不測の事態に対応できるよう、長期借入金などを利用して現金・預金をいつもより多く準備していたことが考えられます。

●固定比率

前年対比4.9%の減少となっています。固定資産合計は増加していますが、利益剰余金等が大きく増加したことが一つの要因と考えられます。

●固定長期適合率

前年対比1.8%の減少となっています。固定負債は減少しましたが、利益剰余金等が増加したことが一つの要因と考えられます。

●自己資本比率

前年対比3.2%増加し、68.5%となっています。利益剰余金等も増加していますが、流動負債、固定負債がどちらも減少していることが自己資本比率の増加につながっています。

5 | 成長性分析 前年対比

		2022年	2023年
成長性	医業収入増加率	6.2%	2.2%
	限界利益増加率	6.9%	2.8%
	医業利益増加率	79.0%	▲1.1%
	経常利益増加率	55.0%	▲22.1%
	自己資本増加率	12.5%	9.7%

■成長性分析コメント

2023年は経常利益と本業での利益を表す医業利益が減少しました。また、医業収入は2022年と比較し増加となりました。2023年は受診控えが落ち着いて少しずつ利益が出る診療所が増えてきましたが、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、診療報酬上の特例措置がなくなってきたことが利益増加の妨げになったと考えられます。

※本文中、各表の金額は表示単位未満を四捨五入しており、端数処理の関係上合計が一致しない場合があります。

